情報学部総合情報学科　学校推薦型選抜[指定校]　口頭試問　資料

現代社会では、企業やスポーツチーム、地方自治体など、さまざまな組織が情報やデータを活用し、課題の発見や解決、新たな価値の創出に取り組んでいます。

例えば企業のビジネスでは、新商品の開発や売上予測を行うために、市場調査で得られたデータを分析しています。また、業績分析、会計処理、金融資産の管理なども、情報処理によって支えられています。さらに、企業や商品の情報を YouTube やソーシャルメディア、ホームページなどを通じて発信することも、デジタルデータ活用の一例です。

近年では、ゲームやアニメなどのデジタルコンテンツをビジネスや社会の発展に生かす取り組みも広がっています。スポーツや健康の分野でも、運動や日常活動のデータから身体の状態やトレーニング効果を把握したり、選手やチームのパフォーマンス向上に役立てたりするほか、コンディション管理や試合分析にも活用されています。

このように、情報やデータの活用は私たちの身近なところで広く行われており、社会やビジネスのさまざまな場面で実践的に役立っています。

そこで本学科では、情報やデータを活用して課題の発見や解決に取り組む思考力や、探求心、それを主体的に学ぼうとする意欲、さまざまな人と協働して社会の発展に貢献しようという意欲などについて質問します。事前に準備をし、自分の考えをまとめておいてください。

口頭試問では、

・企業や社会の課題例をあげ、それを情報やデータを活用してどのように解決していくか
・情報やデータの活用方法を身につけるために、今後どのような学びを深めていくか
・課題解決に向けて多様な人々と協力していく中で、どのような姿勢や関わり方が大切か

についてお聞きします。